

様式（第8条関係）

審 議 結 果

次の審議会を下記のとおり開催した。

審議会等の名称	平成29年度 益田市男女共同参画審議会
開催日時	平成29年11月1日（水）13時30分から15時15分
開催場所	人権センター 多目的ホール
出席者及び欠席者	○出席者 【審議会委員】片岡委員、羽柴委員、弥重委員、篠原委員、永易委員、大賀委員、西村委員、山尾委員、小川委員 9名 【関係課】斎藤健康子育て推進監、塩満人口拡大課長、長嶺人事課長、廣瀬危機管理課長、石川子育て支援課長、山本健康増進課長、川崎福祉総務課長、福原障がい者福祉課長、瀧本高齢者福祉課長、田中参事、寺戸産業支援センター所長、梅津農業振興課長、棕木林業水産課長、藤井住民福祉課長、山本教育総務課長、武内学校教育課長、大畑社会教育課長 17名 【事務局】島田福祉環境部長、田中人権センター館長、石田補佐、細川主査 4名 ○欠席者 吉松委員、寺本委員、出雲委員、木村委員、大久保委員 5名
議題	①平成28年度事業実績及び進捗評価について ②平成29年度事業計画について
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	0名
問合せ先	福祉環境部 人権センター 電話：0856-31-0412

経過

1 開会	
2 あいさつ	
部長	審議会では前年度の実績及び今年度の計画についてご審議いただくとともに、来年度の予算編成時期でもあり、より意見を反映させ充実した内容につなげていきたい。ご意見をいただきたい。
事務局	会議の成立報告 会議録・審議会委員名簿等のホームページ掲載の承諾
3 議題	①平成28年度事業実績及び進捗評価について

<p>○第3次益田市男女共同参画計画<平成28年度事業実績> ○平成28年度 益田市男女共同参画計画 進捗評価表</p>	
委員	<p>【講演会や研修の開催】に“男女をはじめ、あらゆる人権問題の解決に向けて…”とあるが、人権と広く言ってしまうと、男女共同参画という視点がぼやけると思う。同和教育の研修会と一緒にいると思うので同和教育などからは切り離して、男女共同参画の視点で話さないとう広がりすぎると思う。</p>
担当課	<p>それぞれ事業については、女性の関係という事で、ここに特化した事業で実施をしている。講演会やいのち・愛・人権展の開催で、内容が女性の問題という課題に向かったもので、講演会ではハラスメント問題で女性についての話が出ている。いのち・愛・人権展はそれぞれ団体が集まりパネル展示等を中心にやっており、その一つの取組みの中で女性の問題についてのパネル展示等を行った。</p>
委員	<p>4ページの実施内容は福祉健康計画で取り上げればいいのか？と、疑問に思う。</p>
担当課	<p>女性の健康づくりだけではなくパートナーである男性の方も健康に、両方が健康であって初めて女性の健康づくりも進められると考え、理想的な健康づくりの状況を書いた。</p>
委員	<p>5ページの15番、平成28年度事業実績の中の⑥番、新規に産後から4ヶ月未満の母子を対象に産後母子デイケア事業開始、乳児家庭全戸訪問事業を4ヶ月未満対象で実施。その他定期的に検診などはあるのか？集団検診などのパーセントを見ると、1歳6ヶ月96.8%、乳児96.3%、2歳児96.2%、大体全員だが、100%になってほしいと思う。100%にならなかった理由が分かれば対策が立てられると思うので、そこが知りたい。</p>
担当課	<p>本当に100%を出すというところでは中々連絡が取れない方がいたりするが、そういった事が出来るだけないように努力をしている。</p>
委員	<p>新規に取り組みされている産後母子デイケア事業とはどのようなものか？お聞きしたい。</p>
担当課	<p>お母さん方の産後うつなどもあり、おばあちゃんなど見てくれる方がいればいいのだが、いない方や、産後の心身ともに不安定になりがちな人に産後のデイケアを助産師さんなどにも手伝っていただいで見てもらうこと。生後4ヶ月未満の赤ちゃんとそのお母さんを対象に、お一人につき最大7日間ご利用できる。料金は1日が2,000円、市民税非課税世帯の方は1,000円。</p>
委員	<p>この取組みは益田市が県の中でもリードしているという感じなのか？</p>
担当課	<p>この事業を手伝ってくださっている助産師さんが、これをやりたいという思いをすごく強く持ってくださって、先進地の方に視察にも行ったりしました。</p>
委員	<p>3ページの【若年層への意識啓発】の内容で、10年間啓発教育に力を入れてきたのは県内でも益田市だけで、そういったところでDV件数がある程度減っているのか把握されていたら教えてもらいたい。</p>
担当課	<p>今のDVの件数については把握出来ていない。単年単年の相談状況などでしたら何件か相談があったものは分かるが、全体的には事業を行ってそれが反</p>

	<p>映したかまではつかめていない状況。ちなみに、益田市の平成 28 年度の相談件数は 72 件でした。</p> <p>安心相談室にも女性相談が 36 件あり、36 件の中の DV の件数は 8 人、相談件数だけでみると一昨年と比べると DV の件数は減ってきたと思う。</p>
委員	<p>元に戻るが、2 ページ上の【学習機会の提供】というところで、「夢の教室」全小中学校での開催と書いてあるが、内容が分からないので教えていただきたい。</p>
担当課	<p>「夢の教室」は JFL と共同してやっている事業で、色々な種目の県のアスリートが小学 5 年生を対象に、アクティビティをした後に約 1 時間の授業をする。自分がどんな夢に向かってどの様にしていくか決意をしていくという授業。</p>
委員	<p>益田版カタリ場とは何か？</p>
担当課	<p>カタリ場は小学校、中学校、高校で市内の若い方たちが約 2 時間自分の事を語りながら、児童等に聞いてもらうプログラム。男女共同参画の視点としては男とか女とか関係無しにどう生きるかという視点を大事にしている。</p>
委員	<p>デート DV 防止出前講座に関して、予算が半分に削られたという事だが、良ければその理由と経緯を聞かせてもらいたい。</p>
担当課	<p>全体的な予算の中での組立てという事で、内容は素晴らしいもので、実際のところますます広げたいと思う部分が非常に多いが、中々その辺が調整できなかった状況である。</p>
委員	<p>他の事業に比べて優先すべき問題というわけではないということか？</p>
担当課	<p>優先的には高い順位のところではある。</p>
委員	<p>全中学校でなく半分の中学校で実施というところで、あと半分は自分のところで自前で行う。出前講座ができなかった半分の学校は次年度に優先して行う仕組みはできているのか？</p>
担当課	<p>考え方はそういう形で今年度難しかったところは来年度にという形で組立てしている。それぞれの学校については、学校自体の取組みという形で進めてもらえればと思う。今年度難しかったところは学校自体で取組む仕組みもこれから進めなければと思う。</p> <p>3 年前に島根県でも各学校で啓発教育が出来るように教材を作り、全中学校、高校に教材を送っている。できれば学校独自の中で進めるのが一番で、私たちが年 1 回話をするだけでは伝わりにくいしサポートもできない。学校現場の先生たちがきちんと理解をして、学校の中で教材を使い広めることを、継続的にやる方が効果的である。</p>
委員	<p>先ほどあった「夢の教室」とか「カタリ場」ですが、聞くと私の見え方と違って、こういった活動の取組みの成果で、例えば私たちの小学校のサッカークラブだが、女性の方も段々増えてきたり、昔なら女性しかいなかった保育士さんなどが近くの保育園にも男性の保育士さんが増えたり、こういう積み重ねがあったからだと思う。</p>

委員	DV に関して相談を受付けるところが二つあるようだが、警察につなげた実績はあるのか？ かなり深刻なものもあると思うが、早く警察にいった方がいいもの、もしくは弁護士の方にいったほうがいいという案件もあると思うので、その時はしっかりとお願いしたい。
会長	警察や行政とか病院とか色んな関係機関の協議会だとか話し合いなどはあるのか？
担当課	女性に対する暴力の対策関係機関連絡会というのを県の方が持っておられたりする。
委員	23 項目、女性管理職登用率が出ていますが、自治体も女性活躍推進法に基づいて登用計画を立てていると思うが、その計画に対してどういう風に平成 28 年度 16.1%なのか教えていただきたい。
担当課	女性活躍推進法に基づいて、益田市としては平成 32 年を目標にして女性管理職を 15%以上にする目標を立てた。平成 28 年度については 16.1%であり、いろいろな上下の変動などがあり最終的にはこの%を出した。
委員	目標数値というのは大体どこの市もこの数字程度なのか？
担当課	ほぼこういった数字で目標が 15%になっている。
委員	女性管理職登用について、24 項目の階層別研修の受講 83 人、これに対して女性の参加率とこの中から新しく管理職になった方はどの程度いたのかを教えてください。
担当課	24 項目の階層別研修は男女に関わらず色んな区分で 1 件ずつ区切られている、ここで男女比を詳細に申し上げるのは難しい。「女性リーダーのためのマネジメント研修」というのが一週間あるが、平成 25 年から毎年職員に研修に行っていていただくという形をとっている。
委員	「女性リーダーのためのマネジメント研修」を受けた方に管理職を薦めているのか、それとも管理職になってからこの研修を薦めているのか？
担当課	この研修は基本的には新しく係長になられた方、新しく課長補佐になられた方を中心に行っていていただく。管理職になる事を薦めるという人事はしていない。職員さんの能力を見て管理職にする、しないというところである。
委員	女性にとって急に言われる事は不安がある、男性もだが、そういう研修をあらゆる女性の方に年代とか関係なく行うことにより、やってみようという意識も生まれると思う。
委員	27 項目のアンケートの結果を教えてください。
担当課	今結果を持ち合わせていません。
委員	8 ページの 26 項目「家族経営協定」平成 28 年度新規協定 0 件の理由、「家族協定」で何をポイントにやったのかと、その結果どうなったのかという経過と、農事組合法人の理事の中に女性が何人いるのか、お聞きしたい。
担当課	「家族経営協定」の実績が平成 28 年度は残念ながら出なかった。今年度に入り、1 件ほど「家族協定」を結んだので、平成 29 年度の実績については入っ

	ている。団体等の分について実態は把握していない。実態については調査しているのですが、今後の中で反映させていただいたらと思う。
委員	「職場における女性の活躍に関するアンケート」に関して、今益田における事業の実態を知る大事なもので、この実態をもとに具体的にどういう支援があるか明らかになると思うので、重要性を考え、早急にきちんと分析等をしていただければと思う。
委員	28項目、市内こっころカンパニー認定数16社との事、伸び率が悪いなど私は思うが、ここのあたりはどのような風に出たのか等の正確なデータはあるのか？
担当課	こっころカンパニーは、実際は県の事業になっていて、その中で市内認定事業者というのが16社という状況。こっころカンパニーに認定するには、基本的には子育てに協力する企業でこっころ件数という基準があり、色々な取り組みをすることで、55こっころ以上の取り組みをしないと認定ができない。
委員	東部はこっころカンパニーに認定しているところが多いのだが、今のままでは西部の方にIターンUターンが確保しにくいと思うので、ぜひ力を入れてほしい。
委員	40項目、平成23年度の「益田市避難所運営マニュアル」の見直しを今後検討するとあるが、どのような見直しをしようと考えているのか？
担当課	「避難所運営マニュアル」は、現在益田市で設置をしてホームページで見られるようになっているが、この中の男女のプライバシー等の欄で男女共同参画の視点が少し欠けていたというところで、そういった視点をしっかり入れて今年度見直しをしたいと思う。
委員	早急をお願いしたい。
委員	定期健診の受診率だが、来られない方のチェックを健診で行う事が大切な事で、来られない人がどういう理由で来られないのかを知ることで受診率も100%になると思う。
担当課	受診率が100%になっていない状況で、来られない方は非常に問題というか課題が多く、もしくは支援が必要な家庭も確かにある。そういうところで健診においては、時期が来れば案内をして受診をするように対処をさせてもらっているが、色々なことで受けられない場合は家庭訪問などいろんな機会を作っている。
委員	受診をされない方の家庭訪問は必ずして、子どもさんやお母さんの存在というのは必ずチェックしているのか？
担当課	受診には来られないが、保育所には通っている家庭もあるので、色々な縁を通じ、情報をいただいたりして確認をさせていただいている。
委員	高齢者福祉についてはどういう福祉が実施しているか書いてあるのだが、気になるのは一人暮らしの高齢女性の経済というのが問題になっているので、そういう実態も調査していただいてどういう支援ができるのかをここにに入れていただきたいと思います。

	実態把握が大切で、そういうところも力を入れてやっていく事も確認のために入れていただければと思う。
②平成 29 年度事業計画について ○第 3 次益田市男女共同参画計画<平成 29 年度事業計画>	
委員	今年度の事業計画です。見ていただいて気になるところはありますか？最初の意識啓発なのだが、男女共同参画に関して講演会を含めると書いてあるが、具体的に決まっている内容のものがあれば少し補足していただければと思う。
担当課	皆様のお手元に男女共同参画お届け講座というのがあります。男女共同参画に特化した講演会になります。11 月 30 日 14 時から 16 時です。「地域コミュニティを変えるチカラ」という演題で開催しようと思います。
委員	以前は数値目標が入っていたが、数値化できるものは数値目標を入れたらいいと思う。
委員	今年度の事を来年度になったら事業実績の報告があった時には中間報告みたいな感じで分かる範囲で検討していただければと思う。
委員	既に予算と事業計画が立ててあるものに対して事業計画がどうだとか言われても後で実施するのが難しいと思うので、この会議自体がどうあるべきかが課題じゃないかと思うがどうですか？
委員	その通りだと思う。30 年度の方では、実態把握の問題であるとか、男女共同参画の視点の強調であるとかそういったところで今年度も走り始めている事業についてもその視点というところを意識してほしい、ぜひ 30 年度の計画作りの時にはそれらのことを盛り込んだ計画が出て来ることをお願いしたい。
委員	今年度は今日で 1 回ですよ。来年度以降も 1 回の審議会という形になるのか？今期は計画上 1 回しかできなかったという事か、来年度以降も審議会は年 1 回開催するものとされるのか聞かせて欲しい。
担当課	来年度以降につきましても年 1 回という形です。
委員	開催は大体この時期なのか？
担当課	時期的には今回は若干遅くなっている、もう少し早い時期で来年度以降は開催したいと思う。年 1 回の開催が主だが、計画等を見直す場合は 1 回ではできないので、複数回開催を加味してやらせてもらう形にしていきたい。それ以外の年については年 1 回という形でやらせていただきたい。
担当課	29 年度の予算の反映が、1 年前のこの時期くらいに計画を立てて予算というものを立てている。実のところ早く審議いただいても中々経費面についての反映が非常に難しい時期になり、年 1 回で予算編成が間に合うこの時期に開催という事になった。今年よりもう少し早い時期に余裕をもって予算編成に間に合うところで開催していきたいと思う。
委員	今頃に 30 年度の予算が確定するという事か？
担当課	確定ではなく各担当課が予算要求を始める時期という事。

委員	30年度の予算を考え始める頃がこの時期という事で、それに合わせて30年度の計画も立てていくという事ですね。29年度の計画は大体固まって動いているとは思いますが、今日色々ご意見出たので、そのところもぜひ今からでも取り入れてもらい進めてもらうようお願いしたい。
事務局	その他意見等が無いようですので、以上で審議会を終了します。